

2020 年 4 月 20 日

35 回生のみなさんへ

3 学年主任 鈴木義章

今、みんなは試されています

コロナウイルス感染拡大は想定を越えた事態ではあります。でも、想定外のことが起きたからといって、焦ったり、バタバタしたり、あきらめたりするのではなく、落ち着いてやるべきことをやるのが大切です。アクシデントや予期せぬことを乗り越えていく力があるかどうかはアクシデントや予期せぬことが起こらなければ試すことはできません。今は貴重な体験をしている時です。

私は雨の日のサッカー部の練習の時に部員にいつも言っています。「雨のコンディションでのプレーは雨の日にしか練習できない。サッカーは雨でも試合はあるよ。」

自宅でできることは限られています。しかし、何もできないわけではありません。時間が経ち、できることが増えてきたときに、慌てることなく、スムーズに移行していけるように、今できることを自分で見つけ、取り組んでください。最善の準備が最高の結果を生むことを信じて。

最後に将棋棋士・羽生善治さんの言葉を送ります。

『成果が出ないときこそ、不安がらずに、恐れずに、迷わずに、
一步一步進めるかどうか、成長の分岐点であると考えています。』